

近代英語協会ニューズレター

2016年(平成28年)12月28日
近代英語協会事務局分室
〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600-2
尾道市立大学芸術文化学部平山研究室
協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>
電話: 0848-22-8311 大学代表番号
年会費振替口座 00810-9-5821

1 近代英語協会第34回大会について

第34回大会は、2017年6月24日(土)に、東京都渋谷区の青山学院大学において開催されます。大会閉会後には、会場近くで懇親会も予定しております。全国的に宿泊施設が不足傾向にありますので、遠方からお越しの方は早めに宿泊施設のご手配をお願いいたします。

シンポジウムは、「英語音変化研究の課題と展望(仮題)」という統一テーマの下、大阪学院大学の服部義弘先生に司会を、鶴見大学名誉教授の小倉美恵子先生、茨城大学の岡崎正男先生、慶應義塾大学の堀田隆一先生に講師を務めていただきます(勤務先は2016年12月現在)。小倉講師にはLexical DiffusionとNeogrammarian Regularityとを統合した新しいモデルをご提示いただき、岡崎講師には主として英詩のデータに基づき、近代英語から現代英語に至る強勢・リズム規則の変遷を跡付けていただき、堀田講師には音声と綴字の相互関係という視点から、中英語から近代英語にかけての音変化について論じていただく予定です。

個人研究発表の締め切りは2017年1月31日(火)です。発表をご希望の方は、(a)発表題目と300字程度の要旨、(b)氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、e-mailアドレス)・大会発表助成金希望の有無(※参照)を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でお申し込み下さい。

(ア) 電子メール添付による応募

- ・ (a) MSWord 文書、及びその PDF ファイル
- ・ (b) MSWord 文書のみ

宛先 hirayama@onomichi-u.ac.jp

(イ) 郵送による応募

- ・ (ア) の(a)と(b)の両方を入れたフロッピーディスクまたは CD-R
- ・ 打ち出し原稿

宛先 〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600-2

尾道市立大学芸術文化学部 平山直樹

※ 大会発表助成金制度について

本協会では、学会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に学会発表を奨励するため、学会発表助成金制度を設けております。助成金対象者は、大会発表を行う大学院生・常勤職のない会員(申請時37歳以下、または修士号取得後10年以内で、所属機関等より

大会会場への交通費の補助を受けていない者)を対象と致します。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費(往復)とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙(発表投稿時に希望を明記)に詳細を記入し、事務局に提出頂きます。是非、多くの発表の応募を期待しております。

2 『近代英語研究』第33号の発行について

6編の論文、4編の研究ノート、2編の書評のご投稿がありました。ご応募いただきありがとうございました。編集委員会の厳正なる審査結果は次のとおりです。2017年6月の発行を目指して、現在編集作業が進められております。

	論文	研究ノート	書評
掲載可	1	1	2
再審査	2	2	
掲載不可	2		

なお、論文1編と研究ノート1編が投稿規定に抵触するため審査対象外となりました旨を申し添えます。

3 『近代英語研究』掲載論考の転載(および刊行)許可申請手順の制定について

『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては本協会に属することをご理解いただきたいと存じますが、掲載済み論考を著者の方がご自身の学位論文へ転載を希望される場合、および、その論考が転載された学位論文の刊行を希望される場合もあるかと存じます。そのような場合につきましては、編集幹事宛に所定の許可願をご提出いただくことで、協会から許可書を発行させていただくことになりました。ご希望の方には申請書をお送りいたしますので、編集幹事(坂内)までメールにてご連絡お願いいたします。

4 『近代英語研究』投稿規定、投稿要領、書式見本、執筆者情報ファイルの改定予告

重要なお知らせがございます。編集委員会では、第34号より新投稿規定(現在準備中)を適用する予定です。それに伴い改定される投稿要領、書式見本、執筆者情報ファイルにつきましては、2017年5月末までに協会ホームページに掲載する予定です。また、同年6月発行の第33号にも新投稿規定を掲載する予定です。第34号へご投稿の際は、新しい投稿規定と書式に従っていただきますよう、よろしく願いいたします。なお、第34回大会の総会においても、改定点の概要を説明する予定ですので、お時間の許す方はご出席ください。

5 『近代英語研究』第34号の投稿締め切りについて

第34号(2017年6月発行)の投稿締め切りは2017年9月15日となっております。ふるってご応募ください。審査はすべて匿名で行われます。応募要領については、協会ホームページの「投稿要領」あるいは協会誌第33号(2017年6月発行)の「投稿規定」をご覧ください。なお、応募原稿、同電子ファイルの送付先は以下の通りです。

電子ファイル
sme.meajapan@gmail.com

打ち出し原稿
〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000
弓削商船高等専門学校総合教育科 坂内宏行

なお、英語論文に関して、英語を母語としない投稿者については投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上で応募下さい。また、学会誌への二重投稿はお控え下さい。

6 編集委員の交代について

2017年3月末日をもって、編集委員の石川一久先生、川端朋広先生、高口圭轉先生、澤田真由美先生、松原史典先生の5名（五十音順）が任期満了となります。2期4年間にわたり編集委員会の運営にご尽力いただきありがとうございました。

これを受けて、編集委員会では、後任の編集委員として上利学先生（広島文教女子大学）、久米祐介先生（藤田保健衛生大学）、西原哲雄先生（宮城教育大学）、野村忠央先生（明海大学）の4名を選任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。残るお一方についても選任され、現在就任手続中です。正式に決まり次第、本協会ホームページ、および次号のニューズレター（2017年8月発行予定）にてお知らせ申し上げます。

7 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞について

『近代英語研究』第32号掲載論文の中から、優秀学術奨励賞の授与が決定された、渡辺拓人先生（熊本学園大学講師）におかれましては、第34回大会の総会時に授賞式が行われる予定です。

なお、既にご案内のとおり、賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でている論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。論文応募の際、「執筆者情報ファイル」の該当欄に「✓」をご記入いただくだけで結構です。選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」（選考規程第2条より）です。

8 『近代英語研究』電子アーカイブ化

独立行政法人科学技術振興機構のサイトに、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。次のサイトにアクセスしていただければ、創刊号から第24号（2008年発行）までの論考をパソコン画面上でお読みいただいたり、印刷したりしてご活用いただけます。

- ・ 検索サイト（Google、Yahoo など）で「j-stage」と入力して検索
- ・ 「J-STAGE トップ—科学技術振興機構」または「J-STAGE Home」をクリック
- ・ 右上の「誌名」タブを選び、ボックスに「近代英語研究」と入力して検索

- ・ 青字の「近代英語研究」をクリック
- ・ 画面左端の「巻号一覧 近代英語研究」からお探しの号をクリックし、目指す論考の「本文 PDF」をクリックしてください。
- (※ 近代英語協会のホームページ<<http://www.modernenglish.jp/index.html>>左下の「出版物」からもリンクされています。)

なお、第 25 号 (2009 年発行) 以降の論考についても、事務局からアーカイブ化の申込みを行い受理された状況です。いましばらくお待ちください。また、『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

9 会費納入のお願い

近代英語協会は、皆様の会費により運営されております。会費が未納の方は、恐れ入りますが、早めにご入金下さいますよう、お願い申し上げます。なお、3 年間未納の場合は、規定により退会となりますのでご注意ください。

10 所属、および連絡先通知のお願い

所属、および連絡先 (住所、メールアドレス等) に変更があった場合は、速やかに事務局長 (平山) までお知らせください。学生会員の方が学生の身分を終えられた場合も、会員種別が一般会員へ変更となりますので、お知らせください。

なお、大会案内と年 2 回のニュースレター (夏号は『近代英語研究』同封) の他にも、事務局からご連絡を差し上げることがございます。その場合、電子メールをお送りしますので、新しい所属、および連絡先を通知される際は、できる限りメールアドレスを添えて下さい。

また、住所等が正しく登録されているか確認を希望される場合も、事務局長までお問い合わせください。

11 事務局より

菊池繫夫先生を会長とする本事務局も、この 10 月より 2 年目を迎えました。諸先輩方が作り上げてこられたものを大切にしながら、よりよい運営を目指す所存です。今後とも、本協会発展のために、会員の皆様からご協力いただければ幸甚です。

協会に関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。

- 協会誌について
坂内宏行 (sme.meajapan@gmail.com)
- ホームページについて (会員の出版された図書紹介もお寄せください)
川端朋広 (kawabata@aichi-u.ac.jp)
- その他全般について
平山直樹 (hirayama@onomichi-u.ac.jp)

— 事務局長 平山直樹
良い年をお迎えください。